

第三一八回俳都松山俳句ポスト

第三一八回開函

「櫟」副主宰 櫛部 天思 選

特選三句

轉に目覚めてよりの湯浴みかな

静岡県浜松市 山田 眞二

虚子思ふ年尾の句碑や伊予の春

島根県隠岐郡海士町 田口 耕

のどけしや伊予弁で聞く紙芝居

愛媛県松山市 平田 ひとみ

入選二十句

（市外）

宝巖寺句帳に落つる花の影

神奈川県横浜市 矢島 万知子

城の春順路を譲り合いながら

千葉県柏市 宮田 正弘

息一つ吐きて椿の落ちにけり

福岡県大牟田市 藤好 信子

天守より遠足の子の指す校舎

東京都世田谷区 深山 むらさき

三畳に文机一つ額の花

埼玉県三郷市 早川 恵美

客待ちの俤夫はステツプ初燕

京都府京都市 田茂井 美帆

樹齡三百の松の声聞く庭朧

香川県高松市 谷 昌宏

妻に歩を合はせ相合春日傘

埼玉県川口市 高梨 武州

松山に初めての句座フリージア

大阪府南河内郡河南町 嶋田 里佳

鞆を漕ぐたび影の淡くなる

東京都新宿区 川口 十南

春分や路肩に句碑の子規の街

神奈川県横浜市 内田 芝好

遠足やどこまでも山ついて来る

愛媛県新居浜市 青山 京子

花冷えの駅までと子ら送りけり

千葉県市川市 相川 常子

(市内)

肩車胸いっぱい藤の花

愛媛県松山市 藤田 慶子

くもりのち晴朝顔の種をまく

愛媛県松山市 松田 とよ

三月の婚の荷にある伊予絋

愛媛県松山市 永井信子

ひざまくら五月の風の青きこと

愛媛県松山市 梶原 由利香

青批把や龍馬逃れし国ざかひ

愛媛県松山市 岩渕 晃三

(十五歳以下)

ぶらんこやとおくの海がちかくなる

愛媛県松山市 矢間 かれん

はるかぜとさくらをみてなかよくなつた

兵庫県加古川市 矮松 光生

伊予灘ものがたり賞

伊予市駅パン屋お手振りシヤボン玉

愛媛県伊予市 松田 安津子

投句総数 二、三七六句

市外 一、八二五句

市内 五五一句

投句者総数 一、四八九人

市外 一、二二三人

市内 二六六人

開函日

令和七年五月三十一日